

JAITI 33

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協会の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの国文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる糧」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 財団法人 日本農業研修場協会の
事務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

昨年度は、理事長代行体制で、組織の再構築をしてみました。本年五月の理事会、評議員会で新体制を決定いたしました。新理事長、常務理事を選任し、新体制で事業を継承してまいります。今後とも一層のご支援、ご参加をお願い申し上げます。

ジャイチネパールでは、バシフアント学校の地元への早期の移管について、検討を重ねており、様々な自立へ向けた取り組みが行われつつあります。

◆理事会、評議員会
五月の理事会、評議員会

では、昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算案が承認されました。小林榮氏、菊池健介氏、宮下篤氏の辞任に伴い、理事に小林淳氏、島田晴夫を選出し、理事長に小林淳氏、常務理事兼事務局長に島田



理事長就任挨拶
小林 淳

理事会において理事全員の同意により、理事長の指名を受け微力の己を省みずお受けいたしました。先輩の方がたが懸命に築き上げた、類のない活動内容のNGOとして更なる充実に向け微力を投じて参りますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

予定。

◆武石事務所の新体制

昨年、常勤スタッフの一時廃止しましたが、永年事務局に勤務いただいた豊田かずいさんが、本年四月より現場復帰し、勤務しております。

◆ジャイチネパール

カトマンズ市のジャイチネパール株式会社社長を、役員の小林氏、菊池氏の強い要請で、ネパール人のア

ネパール教育大臣 カカニブライタースクールを訪問



2007年5月31日、ネパール政府の教育文部省のブラディブネパール大臣がカカニブライタースクールを訪問されました。経済的に貧しく教育も不十分な地域に対しジャイチがどのように教育支援、農業支援活動をおこなってきたのかが報告され、いくつかの授業と生徒たちによる民族舞踊を見学されました。大臣は、山間地の発展のためジャイチ及びジャイチネパールのおこなってきた継続的な支援活動に感謝されました。

選任された小林榮、菊池健介氏との太いパイプを持ち、事業の継続発展には、最適な方です。

◆ネパールでの活動
評議員である土屋典重農業指導員によるナムター村における農業指導は、JALICAFの資金援助を受け実施しました。今年度も申請



左から小林理事長、アルジュン・トラチャン、ジャイチネパール社長、ハリダイ・トウマン氏(6月29日懇話会にて)

ルジュン・トラチャン氏が、就任することとなりました。アルジュンさんは、ネパールでのジャイチ事業に当初から携わった方で、ジャイチの現地事業目標「ネパール事業は、ネパール人の手に」を実践することとなります。

◆会計監査

昨年九月から一月まで、基本財産及びその運用状況を含む会計監査を小山監事によって丁寧を実施していただき、良好との報告をいただきました。また適切な調査所見をいただきました。ありがとうございます。

(常務理事 島田)

新役員

◆理事長 小林 淳
元旧長門町議会議員を三期、一九九九年よりジャイチ評議員を務める。

(長野県長和町)

◆常務理事 島田 晴夫
財団法人信州国際音楽村の設立に尽力し、初代事務局長を務める。昨年一〇月よりジャイチの事務局長に就任する。

(長野県上田市)

ジャイチ事務所開業時間
月・水・金
午前十時から四時まで

ジャイチネパールと 学校の取り組み

◆バシファント学校

教育の質が学校の人気を左右します。教育環境や卒業生の成績により、入学する生徒数が増えたり減ったりします。バシファント学校の入学数は男女とも増えつつあります。

バシファント学校は二〇〇三年に初めて卒業生を出しましたが、二〇〇三年、二〇〇四年と卒業生の試験の結果は悪く優秀な生徒が

転校してしまいました。しかし、二〇〇五年、二〇〇

六年の卒業生の試験結果をみて生徒たちが戻ってくるようになりました。

今年の学校記念日のセレモニーでは、卒業生たちは自分たちが勉強したこの学校のSLC試験結果に誇りを持っていてと発表し、保護者たちはこの学校に満足し評価しています。これらは、教師や生徒た

ちの努力、保護者の協力、ジャイチ及びジャイチネパールの支援により、教育の質が向上した結果です。

◆カカニブライター学校

学校の学習環境について現地の保護者たちは満足しています。ある公立学校で教えている教師は、「この学校の教育環境は、カトマンズ市の優秀な学校と肩を並べる」といいます。

◆教育プログラム

教育の質を高めるため次のようなプログラムを準備しています。

例えば、若くて優秀な教師を科目毎に雇用すること、

SLC (regular) 試験結果の推移 (バシファント学校)

Year	SLC試験を受け た生徒の人数	SLC試験を 合格した人数	バシファント 学校の合格率 (%)	全国の合格率 (%)
2003	24	2	8.3	32.05
2004	14	2	14.3	46.18
2005	11	8	72.7	38.72
2006	15	13	86.7	46.51

・SLC試験は、政府が1年に1回おこなう試験です。学校のSLC合格率(%)は1割で合格した生徒regular(現役生)だけの人数が認められます。
・表では、regularで合格した生徒の人数をまとめています。
・バシファント学校では3年前から現役生及び落第生への特別補習授業をおこなうなどの努力を続けています。SLC卒業生は累計で58名(男子37名、女子21名)です。



▶バシファント学校9年生女子生徒



▶カカニブライター学校で民族舞踊の時間

生徒に日記を書かせること、四年生から十年生までの3Sチーム(Student Study Support Team)を作り、学習すること、スポーツやカルチャーなどの正課外活動をおこなうこと、などです。

私たちの学校の運営に誇りを持つよう、都の見本となる学校にすることを約束いたします。また、学校の発展のためジャイチ支援者の皆様の見解、保護者の意見をお待ちしています。

(グルン/マン)

10年卒業生の (SLC) その後

◆Munika Bamjan

(ハタウダ市で12年生)

ジャイチが学校を作ってくれたおかげで現地の人々は教育の重要さに目覚めました。ジャイチは、この学校を政府に移管する方がよいと思います。ジャイチのご協力を生忘れません。教師を目指して勉強中です。

◆Utman Thpa

(カトマンズ市で12年生)

私は、日本の下高井農林高校(長野県)で一年間勉強することができました。ジャイチの協力が生涯感謝いたします。ジャイチは、三年前から教育の質を高めています。とてもありがたいことです。おいしい日本料理を作るコックになりたいと思っています。

◆Rabin Bahjan

(ハタウダ大学教育学部卒、現在バシファント学校教師)

こんな辺境地にすばらしい学校を作ってくれたジャイチに心より感謝いたします。私は十年間無料で勉強することができ、今は自分の収入で自立しています。

可能であれば、他の地域にも支援を続けていくようお願いいたします。また、ジャイチがバシファント学校を現地の人々に移管する計画について慎重に進めていただくとお願いいたします。現地の人々はいきなり学校を運営できる状態ではありません。



▶ウツタムタパ君は現在アルバイトで日本料理の勉強をしています。

ネパール農業報告

—カカニ、ナムター地区—

一月にネパールへ行って
きました。

◆ナムター村と周辺村

アブラナ科やさい特有の
難病害であるネコブ病に悩
んでいる事は今まで何回か
書きましたが、いろいろな
他科やさいの試作検討を始
めました。

ジャガイモ（ナス科）は
ネパールでも重要やさいで
すが日本より小玉です。ス
イスから入った品種で栽培
間隔が十五回ほどと密植で、
そのためと思われま。



▲ネパールの女性は働き者、牛の餌にする小枝や刈草を運ぶ。男性は少ない。

そこで日本から男しゃく
とアンドスの二品種を持ち
こみ、日本方程式で試作中
です。ネパールからのメー
ルによるとアンドスに対す
る評価が高いようです。

このほかまだ収穫になら
ずはつきりしませんが、マ
メ科、イネ科、ウリ科、セ
リ科などいろいろなやさい
を試作検討中でネコブ病対
策の重要な解決法と考えて
います。現地の気候風土に
適し、好みにあうものがあ
ればと期待しています。



▶一月下旬ジャガイモの植付け。
シンパシアン種と早生のパール金地
（1750也）密植にしよう。

◆カカニ地区のイチゴ

十数年にわたる連作、種
苗に老化、適地とはいえな
い気象条件などから年々収
量が落ちてきています。

数年前に日本からウイ
ルフリー苗を持ちこみ種苗
更新をはかったのですが、
向上心や勤勉さの欠如、資
材不足、技術レベルなど海
外技術援助でよく問題にな
ることですが、なかなか思
うようにいきません。

数年にわたるイチゴ栽培
農家とのつきあいの中から
「この人なら」という農民の
目星がつかまりましたので、その農
家を中心にイチゴ作の再構
築をはかるべく準備中です。

◆やさい種子事情

一九九一年から十年間ほ
ど日本は世界一の援助大国
でした。ネパールにとって
も最大の援助国に至る所、

あらゆる分野で日本の援助
事業を目にすることができ
ます。また自動車、オート
バイ、家電製品なども日本
メーカーが多く、日本かと
みまがうほどです。

やさい種苗も例外ではな
く、ここ数年あちこちの種
苗店をのぞく機会が多く、
ネパールの種苗事情につい
て書いてみます。

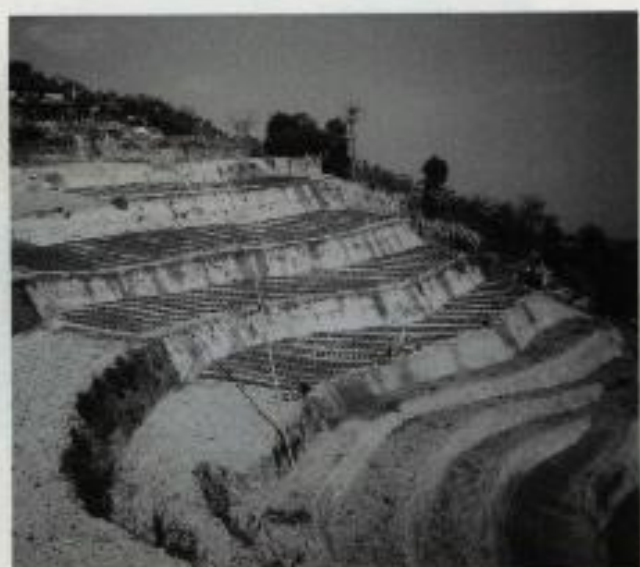
ネパールにはめばしい種
苗会社はなく、ほとんどが
外国からの輸入種子です。
特に目につくのが日本のや
さい種子で、全体の六〇％
程度を占めます。日本以外
では韓国、中国、オースト
ラリア、デンマークなどで
す。

主要やさいである大根、
キャベツ、カリフラワー、
人参、エンドウ豆などは日
本の種子が圧倒的にシエ
アを占めています。日本の種
苗会社の英語
版のカタログ
をよく目にし
ます。

援助にあつ
たて資材は現
地調達が原則
という考え方
で取り組んで
いますが、ネ
パールに限ら
ず特にアジア
などでは日本

メーカー品が多いという現
実でもあるようです。

ただこの一二年の傾向
ですが、すべての分野で韓
国メーカーの進出が急で日
本人としては心配になりま
す。中国の進出も脅威です。
(農業指導員 土屋典重)



▲カカニ地区、段々畑でのイチゴ栽培。土手は2~3mで垂直にちかく落ちるとケガをするだろう。中央ネパールでの典型的風景で、エンジン付き農機具の入る余地は全くない。

事業決算報告

科目	(単位:円)
収入	
基本財産運用収入	4,163,784
特定資産運用収入	443,190
寄附金収入	3,764,073
助成金収入	1,319,000
財産運用収入	1,970
雑収入	80,654
当期収入合計	9,752,671
前期末繰越収支差額	14,892,664
支出	
開発途上国からの農業技術者養成事業	5,482
武石実習農業事業	15,226
募金事業	189,455
開発途上国の農業団体への助成事業	4,145,010
日本人職員による調査研究事業	1,391,289
奨学金里親制度	11,519
途上国の農業文化案内と 視聴覚教材貸出事業	118,670
機関誌発行事業	430,046
管理費	3,069,999
当期支出合計	9,376,696
当期収支差額	375,975
次期末繰越額	15,268,639

(2006.4.1~2007.3.31)

【お詫言】

前号のJAICAFより
のご支援について、当財団
も自分の負担をしておりま
すが、負担していない旨の
記事が載りましたことをお
詫言申し上げます。

事務局だより

▼ジャイチ

- 1月
 - ・機関誌32号を送付(約1000通)
 - ・理事会の開催 評議員の選出
 - ・土屋興業委員指導員ネパールへ農業指導支援
- 2月
 - ・社団法人農林業協力・文連協会に助成の完了報告書提出
 - ・島田晴夫 ネパールへ総合指導
- 3月
 - ・予算・決算書制作
- 4月
 - ・模範バザー
- 5月
 - ・理事協議会の開催
 - ・2006年度決算監査
 - ・理事・評議員会開催 2006年度の事業・決算報告の承認。2007年度の事業計画・予算の承認。理事、役員選出。
 - ・秋田県南中学校生徒会からバシファント学校へランドセル30個寄附
 - ・機関誌33号編集会議
 - ・法務局へ理事の登記・資産変更の登記。
 - ・長野県へ事業報告、理事異動・資産変更届け提出
- 6月
 - ・機関誌編集作業
 - ・ジャイチネパールの件でアルジュントラチャン氏と打ち合わせを行う

ジャイチネパール▼

- 1月
 - ・バシファント学校ではSLC試験を受ける為、10年生対象に模擬試験を行う。また都内の女子バレーボール大会で優勝する。
 - ・ジャイチネパールの運営費の予算を作成する。
 - ・カカニ農場周辺の農家のイチゴも、連作障害等によりジャイチメロンより、イチゴが枯れ、大打撃。
 - ・ネパール政府・教育文部省より、小林繁、菊池健介両氏に、大使館を通じて感謝状が送付される。
 - ・土屋興業専門家を、バシファント地区で栽培指導。(3回)
- 2月
 - ・バシファント学校では保健室の充実のため、新用職員を採用する。
 - ・バシファント学校とカカニ・プライター学校で、入学試験の準備を行う。
 - ・カカニ地区のイチゴ出荷販売協力を行う。
 - ・カトマンズでは、62年分の調書を記録
 - ・1月、2月にカトマンズでは、交通ゼネストが突発的に発生、機能マヒする。
- 3月
 - ・バシファント学校10年修了生はSLC及び国が行うBOARD EXAM(卒業試験)を受験した。
 - ・バシファント学校とカカニ・プライター学校で、入学試験を行う。
 - ・カカニ・プライター学校で開校記念式典を行う。
- 4月
 - ・バシファント学校では、一部施設を改装し今年寄宿舎として使用。9年生、10年生30人の生徒が入寮する。
 - ・バシファント学校ではSMCCに3年生まで引続き。
 - ・バシファント学校では81人、カカニ・プライター学校では91人が入学した。
- 5月
 - ・バシファント学校では、無料の歯科治療を全校生徒及び父兄が2日間におかり、受診した。(寄付者名簿頁参照)
 - ・カカニ・プライター学校では、ネパール教育文部省大臣が視察に来訪される。(1頁)
 - ・長野県上野中学校より学用品、衣料等の寄贈を受ける。
- 6月
 - ・ネパールの会計年度(7月～翌6月)の為、年間事業の集計。
 - ・バシファント学校の海ノワスの一層修理(雨漏り)
 - ・ホテルサンセットビュー社長アルジュントラチャン氏が、ジャイチネパールの件で来日。

バシファント学校奨学里親募集

九年生の里親一名、十年生の里親二名を募集しています。奨学金は年間六万円です。期間は九年生の里親は二年間、十年生の里親は一年間です。里親になっていただきますと、学生からの手紙・写真の送付と、学年末に進級の報告があります。皆様のお申し出をお待ちしております。

里親だより
株式会社エヌアイエヌ
八巻 国宏

私は、この四月に大学を卒業した社会人一年生です。ネパールの現状について初めて聞いた時には正直なところ、実感といったものはありませんでした。日本だけの生活しか知らない私にとって、海外情報はテレビで流れるニュース程度で、事件や事故に関する



▲筆者、仕事中

ることが大半です。その国で暮らす人々というものを感ずることはほぼ無いと言えます。ジャイチなどの支援活動についても関心を持たない人も多いと思います。現に私も会社が里親に参加している事から、ジャイチの活動を知りました。

ネパールは、識字率が四二%とほぼ一〇〇%といえる日本に比べて低い事、天候不順などですぐに食料不足に陥りやすい状況だと言う事などを初めて知りました。会社には里親になっていく子供達からの手紙がきています。身の回りの事や感謝の言葉が記されていますが、彼らがどんな事を思っているのか、どれだけ感謝しているのか、といったことが感じられる内容です。



▲パタンのタルパール王宮広場、300年前の寺院群。

いない自分にとって、彼らは働くといった事についてはつきりと向かい合って生きていくのだと思わずにはいられません。日本で生活しネパールを感じたことの無い私の想像以上に大変な状況の中で生き生きと生活している子供達の姿を思い浮かべてみました。(東京都)

物故者のお知らせ
支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載いたします。ご冥福をお祈りいたしますと共に、今までのご支援に対し感謝いたします。

齊藤 美代子様
平成十八年十月(東京都)

編集後記

ジャイチネパールのグロン氏の三年に渡る教育改革プログラムの成果が表れてきた。(二頁)

ジャイチの一員として誇りに思うと同時に、地道な取組みに敬意を表し、見習わなければならぬ。ジャイチの支援の精神が生徒たちに伝わり、学校が発展することはうれしい事である。そして何よりも、地域の学校として地元の人々の協力で運営されるのは更にうれしい事である。

日本の社会が学ぶべき事は多い。(一頁)

第八期
評議員

一月の理事会において下記の方々が評議員に選出されました。

(平成十九年一月一日～二十年十二月三十一日)

井出 守雄	長野県上田市
岩崎 吉一	東京都立川市
小山田 秀士	長野県上田市
清住 隆幸	長野県上田市
小林 弘	神奈川県大和市
小林 裕	神奈川県横浜市
土屋 興重	長野県佐久市
春本 宏介	東京都国分寺市
松浦 浩	神奈川県大井町